

新公立病院改革プランについて

柏市 保健福祉部 医療公社管理課

平成28年5月31日

■新公立病院改革プラン概要

改革の目標

- ① 公・民の適切な役割分担の下，地域において必要な医療提供体制を確保する。
- ② その中で，公立病院が安定的に不採算医療や高度医療などの重要な役割を担っていく。

策定期期

平成27年度又は平成28年度（地域医療構想をふまえて）

対象期間

策定年度あるいは次年度～平成32年度を標準

内容

- ①地域医療構想を踏まえた役割の明確化（新規）
- ②経営の効率化
- ③再編・ネットワーク化
- ④経営形態の見直し

※内容は「新公立病院改革ガイドライン」に基づき策定

■これまでの公立病院改革プランについて

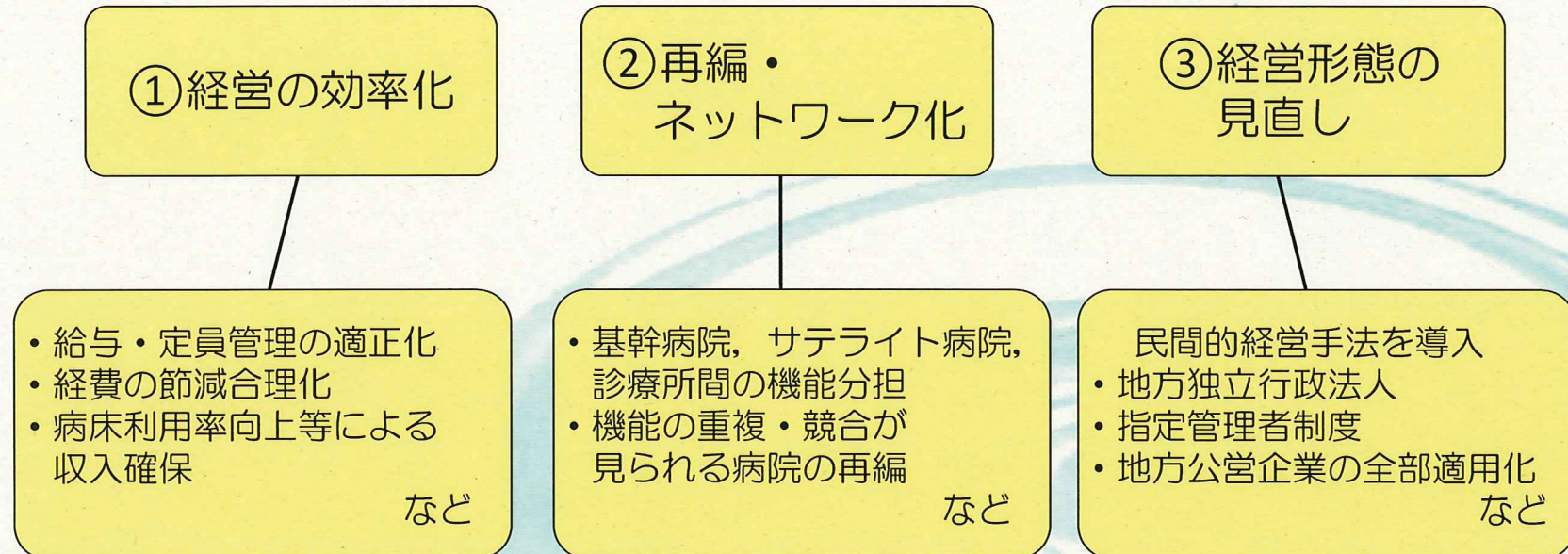
背景

夕張市立病院の閉鎖（H19年）など、地域医療の崩壊

⇒地域医療確保の必要性

⇒第1次公立病院改革プランの策定（H21～H23年の3年間）

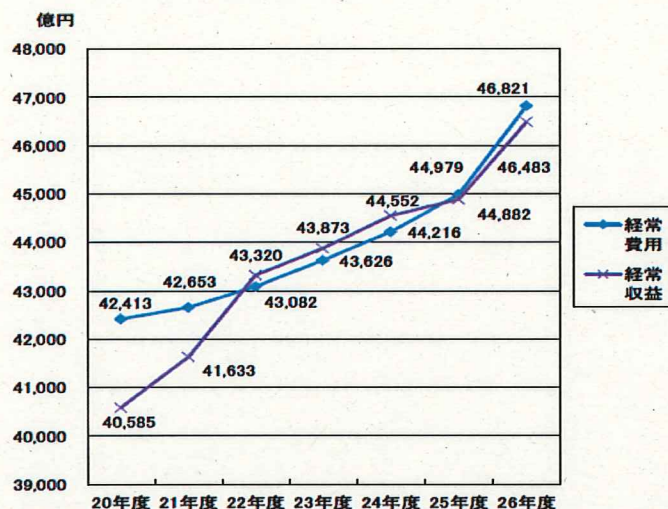
内容



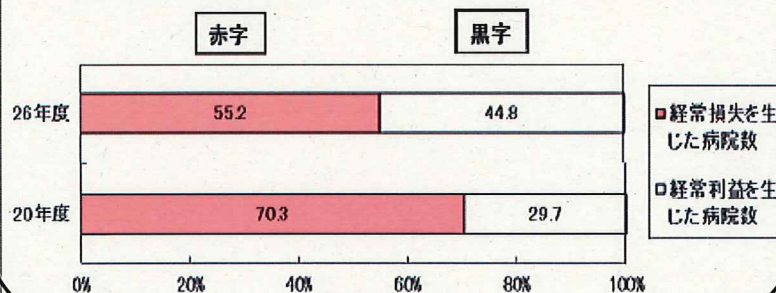
第1次公立病院改革プランの成果

① 経営の効率化

○ 収益費用状況の推移
(地方独立行政法人を含む)



○ 全病院数に占める経常損失・経常利益を生じた病院数の割合
(地方独立行政法人を含む)



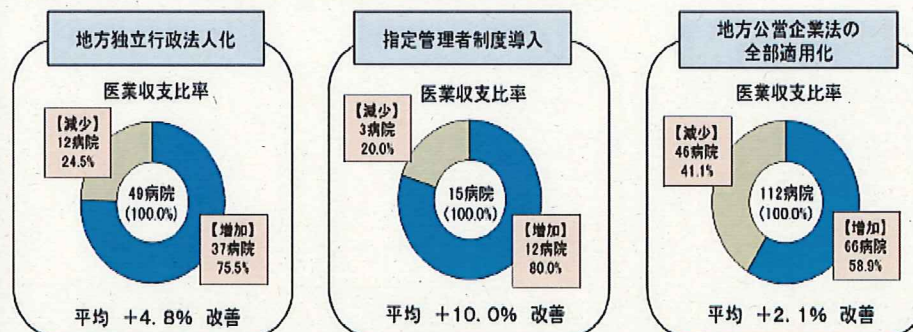
② 再編・ネットワーク化

・統合・再編等に取り組んでいる病院数
162病院

・再編等の結果、公立病院数は減少
H20: 943 ⇒ H25: 892 (△ 51病院)

③ 経営形態の見直し

1. 見直しの前後での医業収支比率(医業収入/医業費用)の改善状況



■新公立病院改革プランの内容①

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

(1) 当該病院の
果たすべき役割

診療科目等の医療提供内容、病床機能のあり方などの将来像（2025年(H37)時点）を明確化する
将来の病床数の必要量等が示される地域医療構想と整合性をとる

(2) 地域包括ケアシステムの
構築に向けて果たすべき役割

例えば、在宅医療に関わる当該病院の役割を示すなど、地域における地域包括ケアシステムの構築に向けて具体的な機能を示す

(3) 一般会計負担の考え方

一般会計が負担すべき経費の範囲についての考え方及び一般会計等負担金算定基準を記載

(4) 医療機能等指標に
係る数値目標

果たすべき役割に沿った医療機能を十分に発揮しているかを検証する目的で（救急患者数など）数値目標を設定

(5) 住民の理解

医療機能について、住民（市民）の理解のための取り組み

■新公立病院改革プランの内容②

②経営の効率化

(1) 経営指標に係る
数値目標の設定

経営上の課題解決に向けた数値目標（経常収支比率、医業収支比率など）を設定

(2) 経常収支比率に係る
目標設定の考え方

公立病院が担っている不採算医療等を提供する役割を確保しつつ、対象期間中に経常黒字化する数値目標を設定

(3) 目標達成に向けた
具体的な取組の明記

どのような取組みをどの時期に行うか明記
（例）経費削減，収入増加，人材確保 など

③再編・ネットワーク化

地域の医療提供体制の確保を図る観点から，引き続き，再編・ネットワーク化を推進
（原則二次医療圏単位での公立病院の再編）

④経営形態の見直し

民間的経営手法を導入

・ 地方独立行政法人化・指定管理者制度・地方公営企業の全部適用化 など

■新市立柏病院改革プラン策定について

柏市の策定期間

平成29年3月

柏市の対象期間

平成29年度～平成32年度

策定方法

市立病院事業検討専門分科会の議論を踏まえて策定

内容

新公立病院改革ガイドラインの基準に沿い

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

②経営の効率化

③再編・ネットワーク化

④経営形態の見直し

について定める。

※②，③，④については，現指定管理期間と同一の為，現状及び指定管理者目標数値をベースとすることを想定